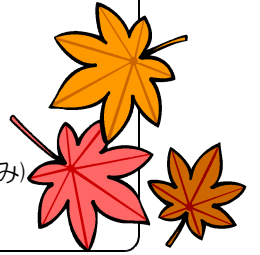


支援部だより



寒さは急にやってきます！！寒暖の差の激しさが紅葉の彩りに影響するとのことで、今年の紅葉は大変美しかったですね。朝バスの誘導等で外に出ると、木の葉が青空に舞って、きらきらとゆっくり舞い降りてくる様子が見られるときがあります。思わず、ほっと息をのむ瞬間です。日々色々あるけれど、つらいことだけじゃないな・・・と、寒さの中でも気持ちが温くなる一時でもあります。

居住地校学習 中間報告

小中学部の児童生徒を対象に「居住地校学習」を実施しています。

これは、宮城県のインクルーシブ教育システム推進事業の一環として行われている「居住地校学習推進事業」で、社会参加や地域における特別支援教育に関する理解促進を図る目的で行われています。

共に学ぶことを通して互いに理解し合い、地域における障害のある子ども及び特別支援教育に対する理解を深め、特別支援学校の児童生徒が充実した学校生活を送り、卒業後の社会参加を円滑に行うための環境づくりを進めていきたいと考えて、実施しています。

具体的には、支援学校の児童生徒が居住地区にある小学校、中学校で学習してくるという活動です。本校では小学2年生から中学3年生までを対象として実施しています。年間1～3回、時間や学習内容、交流相手等は学校やお子さんの実情に合わせて様々です。詳細は保護者の意向を伺いながら、相手校の担当者と担任とが相談して決定します。

今年度は小学部20名（15校）、中学部6名（6校）が参加しています。何年も継続して参加している方もいれば、今年初めてといった方、いったんお休みして再開した方など、様々です。小中学校への送迎は保護者の方をお願いしていますが、活動には担任が付いて一緒に参加します。今回は、これまでの活動の中から何人かの様子をお知らせしたいと思います。

小学部



特別支援学級で、一緒に絵本の読み聞かせを聞きました。活動中は、目をぱっちり開けて楽しみました。

交流は2年ぶりでしたが、覚えていてくれるお友達も多く、順番に握手しました。誕生日にメダルをもらったので、お返しに制作した物を持参し、飾ってもらうことにしました。



通常学級での交流です。4年目ですが、最初はやっぱりちょっと緊張します。
児童会のお祭りで射的をするということで、友達と一緒に体験してみました。他にも消しゴムはんこで押ししたり、紙を丸めたりしました。音楽の授業では、みんなのリコーダーに合わせて、タンバリンを鳴らしました。



児童会行事『ほしぞらまつり』で、特別支援学級の友達と交流しました。紙飛行機飛ばしやボウリングと一緒に楽しみました。特に、モグラたたきがお気に入り、友達から「大ちゃん」と声を掛けられて笑顔を見せるなど、とても良い雰囲気の中で活動できました。

特別支援学級の2名の友達との交流です。今回は、カップケーキ作りの活動でした。みんなで役割分担をして、協力して調理を楽しみました。
試食後のゲームも、一緒に楽しく参加できました。



中学部



3年目の特別支援学級での交流です。自己紹介も緊張せずできました。
お楽しみ会に参加し、カルタ取り大会では、自分から読み手に立候補しました。風船バレーボールも、盛り上がり楽しんでました。同学年の女子が話しかけてくれ、すんなりと仲間に入ることができました。



初めての交流でした。
特別支援学級で、英語と美術の授業に参加しました。ALTの質問に答えたり、クリニカルアートを体験したりし、中学校の先生にはその出来栄を褒めていただきました。
休み時間には通常学級のお友達も声を掛けてくれて、笑顔が見られました。

スクールカウンセラーさんの来校予定
1月29日(月) 2月21日(水) 3月12日(月)
※まだ空きがあります。相談希望ある方は、遠慮なく申し込んでください。

